

# 小型船舶操縦士学科試験問題解答用紙

試験日	20 <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="3"/> 年 <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> 月 <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="4"/> 日
試験種別	一級 <input checked="" type="checkbox"/> 二級 <input type="checkbox"/> 特殊 <input type="checkbox"/>
問題	<input type="text" value="0"/>

試験地	
受験番号	<input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/>

※ 解答は右の記入例にならって、枠からはみ出さないように記入してください。

1	2	3	4
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

小型船舶操縦者の心得及び遵守事項	※一般 交通の方法 ※特殊 13~ 交通の方法 23~ 運航	※一般 運航 ※特殊 運航	※一般 運航	※51~ 上級運航 I ※59~ 上級運航 II
1	13	27	41	51
2	14	28	42	52
3	15	29	43	53
4	16	30	44	54
5	17	31	45	55
6	18	32	46	56
7	19	33	47	57
8	20	34	48	58
9	21	35	49	59
10	22	36	50	60
11	23	37		61
12	24	38		62
	25	39		63
	26	40		64



# 一級小型船舶操縦士学科試験

<b>上級科目</b> (問51～問64)
--------------------------

問題
----

C
---

受験番号
------

R5 11/14
----------

## 【注意事項】

1. 各問題の解答は、必ず別紙解答用紙に記入すること。
2. 各問題の解答は、4つの選択肢のうちから1つだけ選ぶこと。

## 【受験科目及び試験時間】

受有している免許	受験科目	試験時間
無し	一般科目・上級科目 (問1～問64)	2時間20分
二級(1海里限定) 特殊	交通の方法・運航・上級科目 (問13～問64)	2時間5分
二級	上級科目 (問51～問64)	1時間10分

※ 海技士資格受有者の受験科目と試験時間は別に定める。

※ 配点及び合格基準は、リーフレット(一・二級小型船舶操縦士試験について)を参照のこと。

【上級運航 I】

問51 次のような航海計画を立案した。12時00分にA点を出航し、全航程を10ノットで航行した場合、D点への到着時刻は何時何分頃になるか。下のうちから選べ。ただし、風や海潮流の影響はないものとする。  
(試験用海図W200使用)

「出航点A : 川口港南東方海域 松崎灯台を磁針方位005°、南町南東方の鹿崎灯台を磁針方位115°に見る地点から磁針路232°で航行

第一変針点B : 秋島北西方の鶴岬灯台を左舷正横に見る地点で磁針路207°に変針

第二変針点C : 春島南東方の馬崎灯台を右舷正横に見る地点で変針

到着点D : 春島南方海域 40°-03.4' N、139°-49.4' E」

- (1) 14時22分頃 (2) 14時42分頃 (3) 15時02分頃 (4) 15時22分頃

問52 春島の南西方海域を一定針路で航行中のG船は、北町東方の中崎灯台をコンパス方位185°、西浜町東方の梅岬灯台をコンパス方位285°に測定した。G船の船位(緯度、経度)は、次のうちどれか。

ただし、このときの船首方向に対する自差は5°Wであった。  
(試験用海図W200使用)

- (1) 40°-06.1' N、139°-45.6' E (2) 40°-06.2' N、139°-44.8' E  
(3) 40°-07.4' N、139°-44.7' E (4) 40°-06.6' N、139°-45.3' E

問53 弁天島の北西方海域を速力14ノットで航行中のJ号は、午前11時00分に30°-00.0' N、134°-50.0' Eの位置に達した。この地点から長浜港南方海域30°-20.0' N、135°-10.0' Eの地点を航過するように同一針路、速力で航行した場合、同日正午の船位(緯度、経度)はどこになるか。次のうちから選べ。ただし、この海域には流向010°(真方位)、流速3ノットの海流があるものとする。

(試験用海図W150使用)

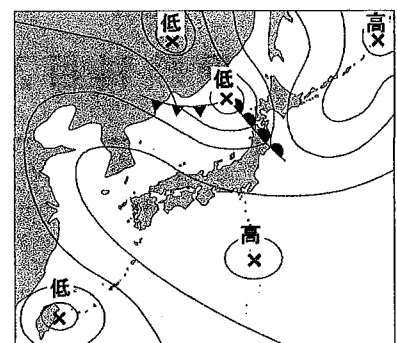
- (1) 30°-12.4' N、135°-02.4' E (2) 30°-10.8' N、135°-00.8' E  
(3) 30°-08.6' N、134°-58.7' E (4) 30°-07.6' N、134°-57.6' E

問54 寄港地で停泊する場合の注意事項として適切なものは、次のうちどれか。

- (1) 他船の動静、気象や海象の変化及び人の出入りなどに注意する。  
(2) 船を無人にするときは、緊急時に備えてエンジンをかけたままにしておく。  
(3) 他船と係留設備を共用する場合は、自船が解らんしやうに他船のロープを結び直す。  
(4) 岸壁に係留するときは、潮汐によって船が上下しないように係留ロープを一杯に張っておく。

問55 右図は、夏によく見られる日本付近の地上天気図である。この気圧配置における、関東以西の太平洋側の気象状況について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 日中は南寄りの弱い風が吹く。  
(2) 沿岸部では朝方や夕方強い風が吹く。  
(3) 高温多湿な風が吹くため、蒸し暑くなる。  
(4) 天気の変化が少なく、良い天気が続く。



問56 金田湾(神奈川県)における7月31日の潮汐について述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。ただし、潮汐表によると金田湾の標準港は横須賀で、潮時差は-00h 25m、潮高比は0.90、横須賀の当日の潮汐は右表のとおりである。

- (1) 午前の高潮時の潮高は、162センチメートルである。
- (2) 午前の低潮時の潮時は、10時33分である。
- (3) 午後の高潮から次の低潮までの潮差は、81センチメートルである。
- (4) 当日、最も海面が高くなる時の潮時は、18時04分である。

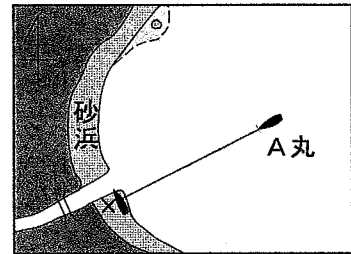
7 月				
	時刻	潮高		
	Time	Ht.		
		h	m	cm
31	03	54	180	
	10	58	16	
	17	39	182	
	23	17	92	

問57 台風の特徴について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 発生直後は、通常、西又は北西に進む。
- (2) 進路上にある地点では、次第に気圧が下がる。
- (3) 進行方向に向かって左の半円は、右の半円よりも風雨が強い。
- (4) 台風の眼の中は、風が弱く、青空も見ることがある。

問58 次の海難事故について、A丸船長が海難事故を起こすこととなった原因として最も重大と考えられるものは、下のうちどれか。

「船外機を装備したクルーザー型ヨットA丸の船長は、友人2人を乗せて釣りをするために係留港を出航した。その後、係留港の沖合で釣りをしていたがあまり釣れなかったため、南西方向にある海岸から約50メートル沖合のポイントまで、帆を上げずに船外機を使って移動することにした。



目的地に近づいたので同乗者に船首で投錨の用意をさせ、白波が立つ程の岸に向かう風が吹いているなか、船首を海岸方向に向けて右舷船尾方向より風を受けた状態で投錨しようとした。ところが、投錨のためエンジンを中立にしたところ、すぐに風下となる海岸方向に流され始めたため投錨をいったん中止し、エンジンを後進にかけて沖に向かおうとした。しかし、力の弱いヨットの船外機ではなかなか沖に向かうことができず、そのまま風に流されて遠浅の海岸に乗り揚げってしまった。」

- (1) 風圧流に対する判断が不適切であった。
- (2) 投錨予定地点の選定が不適切であった。
- (3) エンジンの使用方法が不適切であった。
- (4) 周囲の見張りが不適切であった。

## 【上級運航Ⅱ】

問59 24海里離れた2地点間を往復する。行きは12ノットで、帰りは16ノットで航行するとき、燃料の総消費量は何リットルか。次のうちから選べ。ただし、12ノットで航行するときの燃料消費量は毎時10リットル、16ノットで航行するときの燃料消費量は毎時22リットルとする。

- (1) 47リットル      (2) 50リットル      (3) 53リットル      (4) 56リットル

問60 ディーゼルエンジン船に燃料を補給する場合の注意事項として適切なものは、次のうちどれか。

- (1) ドラム缶から補給する場合は、底の沈殿物も残さず入れる。  
(2) 古くて異臭がある燃料は、新しい燃料に混ぜて使用する。  
(3) できるだけ粘度が高く比重が大きい燃料を使用する。  
(4) エンジンメーカーが定めた規格の燃料を使用する。

問61 小型船舶において、バッテリーを船内に搭載したまま、陸上電源で定電流充電を行う方法について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 電解液注入口の栓を外す。      (2) ガスが発生するので、通風、換気を良くする。  
(3) 電解液の液面を極板下1cm位に保つ。      (4) 電解液の温度が45℃以上になったら中断する。

問62 船内機船の動力伝達系統について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) プロペラシャフトを伝って水が浸入するのを防ぐため、スタフィンボックスを設けている。  
(2) 航行中はプロペラシャフトが熱を持たないように、グランドパッキンを目一杯緩めておく。  
(3) 停泊中はグランドパッキンを十分に締め付け、水滴が漏れないようにしておく。  
(4) 水密を保つ方法には、グランドパッキン方式の他にメカニカルシール方式がある。

問63 ディーゼルエンジンを始動後、回転数が不安定になり、エンジンが停止する場合の原因として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 燃料フィルターが詰まっている。      (2) 燃料噴射弁の噴射口が詰まっている。  
(3) バッテリーターミナルが緩んでいる。      (4) 燃料系統に水や空気が混入している。

問64 警報装置の冷却海水流量警告灯が点灯した場合にとる処置として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) キングストンバルブが開いているか確認する。  
(2) 冷却海水系統のホースから水漏れがないか確認する。  
(3) 海水ポンプが故障していないか確認する。  
(4) オイルフィルターが詰まっていないか確認する。